

据置台工事説明書

型式名

S D - 5 5 0 5 - W

表示について （表示の意味は次のようになっています。）

注意 作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の製品の不具合によって使用者等が、
傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

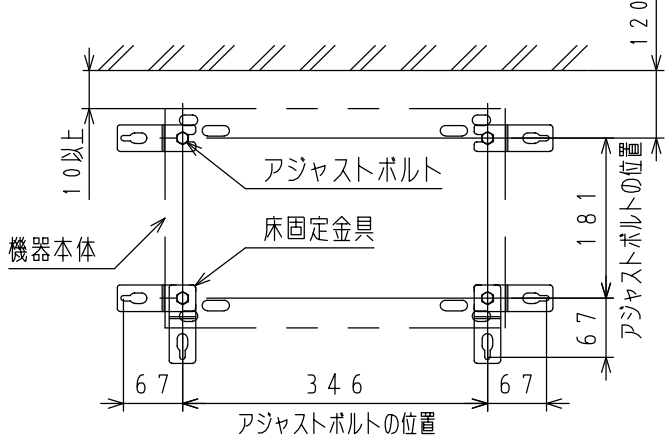
注意 工事される方へのお願い

この据置台は、専用機種に使用してください。
機器を安全に正しくご使用いただくために、この工事説明書をよくお読みになり正しく施工してください。

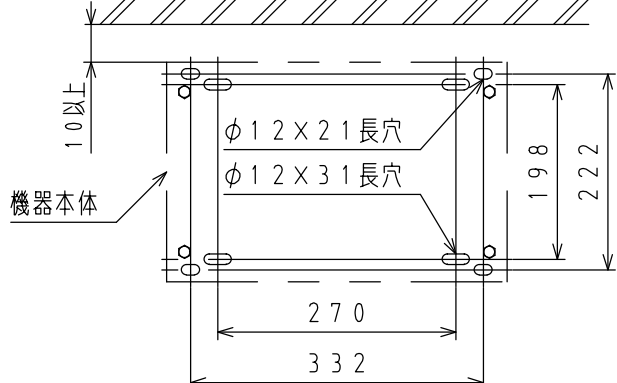
1 P Q 0 3 0 - 3

(2) 据置台の設置位置を決めてください。

- ① アジャストボルトの位置で設置する場合（単位：mm）
約3°迄の傾斜がある場合は、アジャストボルト（4本）で調整してから設置してください。
アジャストボルトの位置で取り付けられない場合は、床固定金具（別売部品、部品コード：W P 0 0 9）を挟み込み、アンカーボルト（M 1 0）等で固定してください。

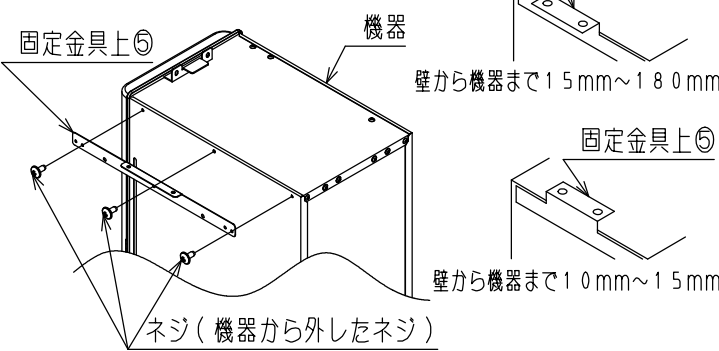


- ② 長穴の位置で設置する場合（単位：mm）
据置台に取り付いているアジャストボルト（4本）を取り外し、φ12×21長穴、もしくはφ12×31長穴をコンクリートベースのボルトとナットで固定して、設置してください。



- (3) 機器上部のネジ3本を外し、固定金具上⑤（ネジ3本）を取り付けてください。

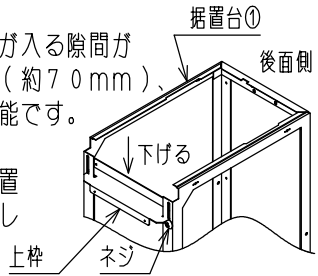
右壁設置の場合



- ※2. 左壁設置の場合は、反対面に固定金具上⑤（ネジ3本）を取り付けてください。
固定金具上⑤の向きにより壁から機器までの取付範囲が異なりますので、取付向きに注意してください。

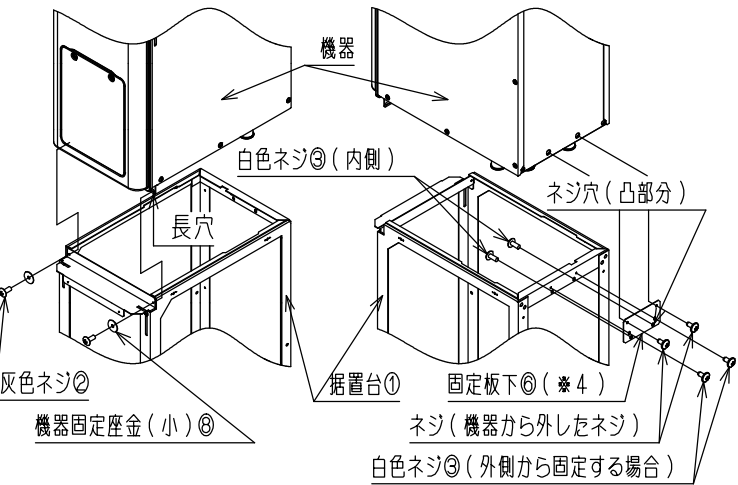
- ※3. 据置台の上枠のトラスM4×10（ネジ2本）を緩めて、上枠を下げることにより手が入る隙間ができるため、機器を載せやすくなります。
このとき、配管が据置台に載り上げないように注意しながら作業してください。
また、機器を載せる際、後面側に手が入る隙間ができるように一度手前に置いてから（約70mm）、奥へ押しスライドさせることも可能です。

機器を載せましたら、上枠を元の位置に戻して緩めたネジ（2本）を固定してください。

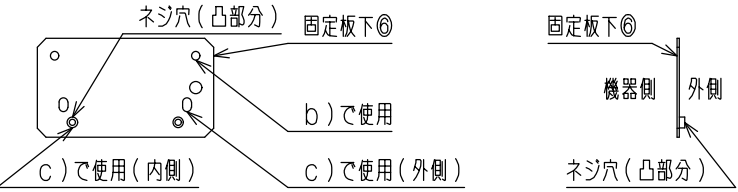


- (4) a) 機器前面下部左右の長穴を利用して、灰色ネジ②（ネジ2本）と機器固定座金（小）⑧で機器と据置台を固定してください。（図イ）
b) 機器後面下部（ネジ2本）を外し、固定板下⑥（ネジ2本）を取り付けてください。（図ロ）
c) 白色ネジ③（ネジ2本）で、機器の内側から機器（固定板下⑥）と据置台を固定してください。（外側からも止められます。）（図ロ）

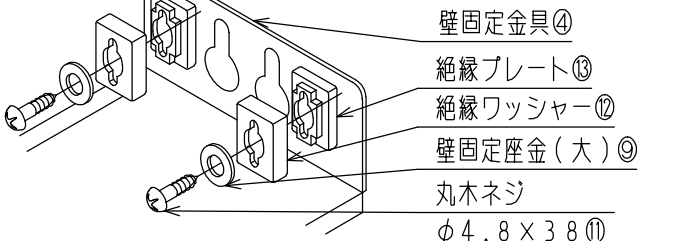
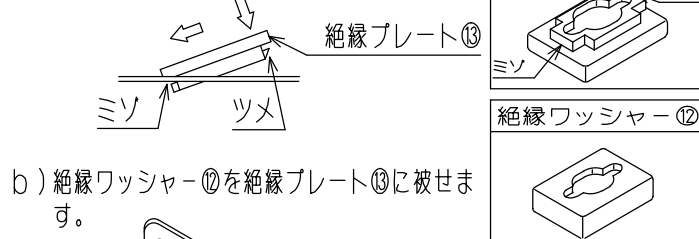
図イ



- ※4. 上記b) . c) でネジ止める穴は下図を参照してください。
ネジ穴（凸部分）を外側にし、固定板下⑥を取り付けてください。

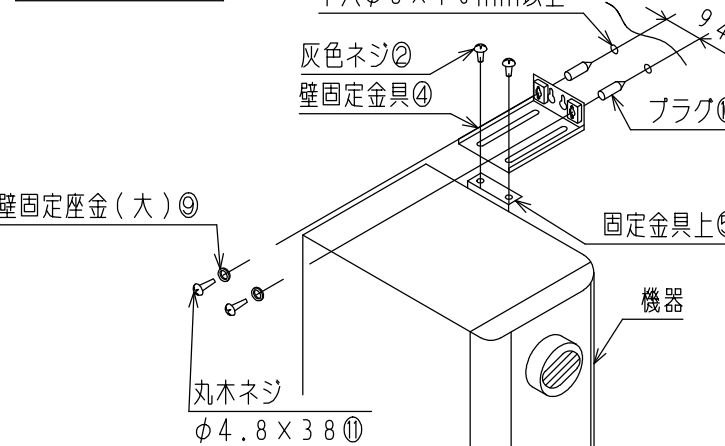


- (5) 絶縁が必要な場合、絶縁部品を次の要領で取り付けてください。
a) 壁固定金具④の後面より絶縁プレート⑬をはめ込みます。
1. ミソに壁固定金具をはめ込むように入れます。
2. ツメが壁固定金具にはまり込むまで押さえます。



- (6) 壁固定金具④を灰色ネジ②（ネジ2本）で固定金具上⑤に仮止めてください。
その状態で壁との距離を調整し、丸木ネジφ4.8×38⑩の固定位置を決めてください。
丸木ネジφ4.8×38⑩の固定位置が決まりましたら、壁固定金具④を灰色ネジ②（ネジ2本）で固定金具上⑤に本止めてください。
次に壁固定座金（大）⑨および丸木ネジφ4.8×38⑩で壁と固定してください。
（モルタル、コンクリート壁等の場合は先にプラグ⑩を壁に打ち込んでください。）
壁から機器までの取付範囲は10~180mmです。

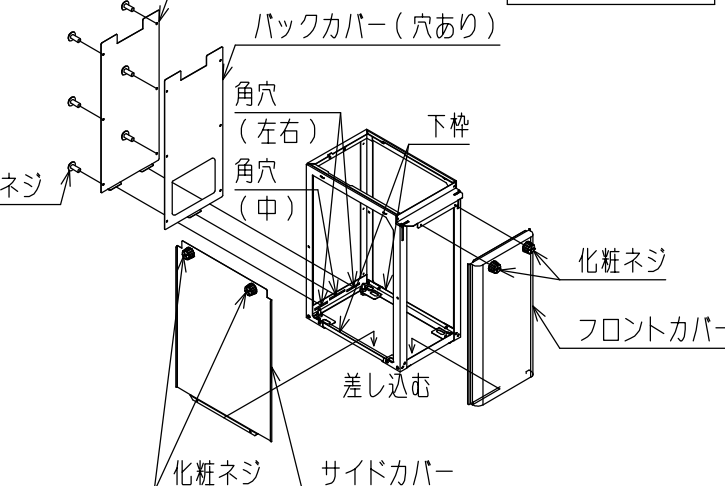
右壁設置の場合



- ※5. 左壁設置の場合は、反対面に壁固定金具④を取り付けてください。

- (7) 据置台①にフロントカバー、サイドカバーを取り付けてください。
(1) でバックカバー、バックカバー（穴あり）を外した場合は、再度取り付けてください。
フロントカバーとサイドカバー下部の段差を、据置台①の枠にそれぞれ差し込み、各カバー上部を化粧ネジ（各2本）で止めてください。
バックカバー（穴あり）下部の突起を据置台①の角穴（中）に入れ込み、さらにバックカバー下部の突起を据置台①の角穴（左右）に入れ込んで、2枚重ねて最初に外したネジ（6本）で止めてください。

右壁設置の場合



- ※6. 左壁設置の場合は、サイドカバーのみ右壁設置のときと反対面に取り付けてください。

注意 安全上の注意

据置台のフロントカバーとサイドカバーをしっかりと閉め、がたつきの無いことを確認してください。下部差込箇所が外れていないことを確認しうえて、化粧ネジをしっかりと締めてください。

製造元

パーパス株式会社

静岡県富士市西柏原新田201 ㊞417-8505